

## 例会から広がる「人の輪・心の輪」 ——やっぱり、楽しみながら学ぶ場

月星会の行事といえば、“学び”を主にした研修会と、“楽しみ”を主にした親睦行事が、車の両輪のように回転している。この両輪の行事は、年に数回であり、いささか物足りないと思う人がいるかもしれない。「異業種交流会なんだから、月1回ぐらいは交流したいな」と。

いうまでもないことなのであるが、実はしっかり用意されているのだ。

例会！ 毎月1回、会員が集まり、情報交流したり、雑談したり、外部講師を招いてちょっとためになる話を伺ったり……。2013年新年号は、この「例会」にスポットを当ててみました。もっと例会参加者を増やしたいという役員や事務局の切なる願いを背に受けて――。

まずは、昨年12月に行われた例会報告から。

### INDEX

例会から広がる「人の輪・心の輪」……	1～2
臼井先生連載……	2
年頭特別投稿 2013年「私の抱負」……	3
委員会報告……	4
会員異動 / スケジュール……	4



夕食例会 平成12年12月11日(火) 於：鯨割烹みどり

### 参加者39名！ 「望年会」を兼ねて和やかに

12月の夕食例会は昨年同様、望年会を兼ねてフリースク形式で実施致しました。

穴倉会長の挨拶に続き、卓話ほうすい先生に「日本はどうなる」と題してお願いしました。ちょうど衆議院選挙戦真っ只中で、選挙に絡めて今後の政局、日本のゆくえについてお話いただきました。その後、委員会報告、山本相談役の「美術鑑賞の壺」があり懇親会に入りました。

今回は望年会を兼ねていることもあり、普段見えない会員の方々も来られ合計39名の出席がありました。皆さん、お酒を酌み交わしながら1年間の思い出や来年の抱負を語り合い、和やかな雰囲気の中、宴は進行し最後に産方副会長の締めの挨拶で終宴となりました。

2月以降の夕食例会もユニークなためになる例会にしていきたいと思っておりますので、会員皆様のご出席を宜しく願いたします。(林 威樹)

### 「例会賛歌」インタビュー 産方副会長に例会を聞く

#### 「楽しみ」あり、「学び」ありの有意義90分

月星会の例会は、穴倉龍子氏が会長に就任した今年度から、朝食会ではなく夕食会になった。「朝は苦手」という人や「酒でも飲みながらのほうが」という人に配慮した方向転換である。これも、できるだけ多くの人に参加してほしいという工夫の表れにほかならない。

近年の例会について、新年の仕事に忙しい最中、産方副会長に直撃してみた。

——産方さんは例会出席率の高いお一人のようですが。

産方 そうですね。まあ、お花を用意させていただいている面もありますから。

——確かに同業者はいないようです。

産方 ええ、月星会に花屋がいたほうがいだろうということもあって入会を勧められた経緯もありますが、商売的な発想で入ったわけではないですよ。

——いちばんの目的は異業種交流にあると。

産方 地元のいろいろな業種の方と交流ができるというのは、大きなメリットだと思います。臼井先生のお人柄にも惹きつけられるものがありましたし…。

——では、本題です。ずばり、例会の魅力といえば？

産方 ずっと朝食会で続けてきましたが、朝の新鮮な気分のうちに、臼井先生のお話や他の方のいい話を聞けるのは私にとっては魅力でした。また、毎月1回の交流で、だんだんつながりが深くなることも実感していました。地元におけるこの“つながり”というのはいいものです。

——今年から夕食会になりました。

産方 朝早いのは辛いという人の声がだんだん強くなってきましたので、では夜にしてみようか、と。以前も、真夏や真冬には夕食会にしたこともあって好評だったという面もあります。

——参加人数は増えましたか。

産方 増えました。朝食会は人数が少しずつ減って30人いなくなっていたのですが、夕食会にしてから30人は軽く超えて40人ぐらいまで伸びました。

——ワンドリンクですが、お酒も飲めるという点も…。

産方 私は、“楽しみながら学ぶ”というフレーズがとてもよいと思っているのですが、例会も円テーブルでお酒を飲みながら懇談することで楽しめるんじゃないでしょうか。和



1994年5月 20回記念朝食例会

やかな雰囲気交流できるということで。

——卓話として外部講師を積極的に招いていますね。

産方 林委員長を中心に、例会をより魅力的なものにしようと工夫をしています。市の出前講座を利用してゴミの話や千葉駅西口開発の話をしていただいたり、ワインの試飲を交えて(株)いまでやさんのお話を聞いたり。30分程度の短い時間ですが、それぞれ好評でした。これからも、いろいろな趣向を凝らしていきたいですね。

——参加すれば有意義な90分を実感できるというわけですね。

産方 はい。ぜひご参加を!と思います。

これまでの講師の先生方



井草隆雄先生



劇団ルネッサンス 主宰・大川義行氏



元大使 中村義博氏

(聞き手 奥平)

連載



## 景気は“気”から！ —安倍総理の実行力を信じて、元気に頑張ろう—

歌舞伎の決め科白に“今年や春から縁起がいいぜ!”というのがありますが、正に今年の日本は春から縁起が良いと思う。正月の産経新聞に「民主党よ、有り難う」という見出しがあった。産経新聞が民主党政権を評価して、褒めるのはおかしいと思ったが、案の定、内容は政権を暮れの内に放棄して、自民党安倍政権で新たな年のスタートが切れることが日本にとってこの上ない幸せで“有り難う”というわけだ。

総選挙前の世論調査で、「あなたは何を投票選択規準にしますか?」との設問で、「実績で選ぶ」とする人が「党首の顔」や「政策」を押さえて圧倒的に多かったことが印象的だったが、民主党の選挙での惨敗結果を見て、有権者が民主党のあの拙劣な政治運営の実績に対し厳しい“ノー”の答えを出したことが改めてわかった。

総選挙で安倍自民党政権スタートが決まった頃だったが、友人の一人が勢いよく駆け寄ってきて「私、株を持っ

ていて、ずーっと損ばかりしてきたんだけど、久しぶりに儲けさせてもらったよ」と大喜びだった。平成25年度の予算も1ヶ月遅れの編成でこれからだし、安倍政権はまだ何をやったわけでもないのに、株は1万1千円台に近づき、為替は1ドル90円も目の状況だ。

「病は気から」という言葉があるが、正に「景気も“気”から!」だと思う。

私はいつも「今、日本に欠けているもの、三つ」として①日本人の誇りに欠けてはいないか! ②他者への思いやりに欠けてはいないか ③なによりも元気さ、活力に欠けてはいないか!を訴えているが、事実、日本ほど素晴らしい国はないと思うし、日本人も一人ひとりが極めて優れた民族だということは、外国人が挙って認めているところだ。しかし問題は、肝心の日本人自体がその素晴らしさを自覚していないことが一番の問題点だ。昔から“信ずる者は救われる”と言うではないか。安倍総理の決断と実行力を信じて、今年こそ元気に前進していきましょう!

前衆議院議員 臼井日出男





# 親睦委員会レポート

浅草日帰り旅行

平成24年11月17日

平成24年11月17日に行われた親睦委員会浅草散策のレポートですが、今回は特別にご家族でご参加頂きました土屋親睦委員長のご息子の土屋直武様よりご寄稿を頂きました。



土屋 直武

僕は十一月十七日に、浅草に行きました。その日は、あいにくの雨でしたが、バスで東京に向かいました。最初に東京スカイツリーに行くことになり、券売所に行きましたが、大勢の人達が居て、東京スカイツリーの展望台に行くのを諦めて、横の墨田水族館に行く事にしました。そこでは、鮫や蟹、海月などがたくさん見えました。水族館では、ペンギン達がいっぱいいて、かわいかったです。その後は、みんなとお食事しました。そして浅草寺で御参りをしました。

すごい雨の中でしたが、とてもいい思い出になりました。今度は晴れの日に行きたいです。



## 2・3・4月のスケジュール

2/6(水)	役員会	18:30開会	プラザ菜の花
2/8(金)	定例夕食会	19:00開会	参加費 3,000円 会場：鮫割烹みどり
3/6(水)	役員会	18:30開会	プラザ菜の花
3/9(土)	第2回経営研修会 “地場産業を活性化させた経営戦略を学ぶ”	講師：富洋観光開発(株) 社長 鈴木裕士氏 JR千葉駅NTT前 9:00 バス出発 参加費 3,000円	
3/15(金)	定例夕食会	19:00開会	参加費 3,000円 会場：鮫割烹みどり
4/3(水)	役員会	18:30開会	プラザ菜の花
4/12(金)	定例夕食会	19:00開会	参加費 3,000円 会場：鮫割烹みどり

この新年号を会員の皆さまのお手元に届けるのが、「新春の集い」から10日ほど過ぎた頃になってしまいました。であつたら、「新春の集い」の記事を入れるんだつた……と、編集スタッフは反省しきりです。

19日(土曜日)に行われた今年の集いも、たくさんの来賓の方々にお越しいただき、華やかでした。どう華やかだったか？それは次回のお楽しみにしましょう。次号にてご報告することで、「新春の集い」が2度美味しくなる……とは、編集スタッフの勝手なポジティブシンキングです。(奥平)

2013年巳年、最初の「会報つきばし」はいかがでしたか？うすい先生の文中にありました「景気は“気”から」の通り気持ちから上向かない限り世の中は良くはならないと感じますね。

原稿を依頼しています関係者各位には毎度のキラーパスに多大なるご配慮を頂戴しまして今号も発行にこぎつけました。今回は二ヶ月毎の発行に合わせられる様、段取り良く計画していきますのでご協力をお願い致します。(内藤)